

私は千葉県柏市で生活安全産業の一翼を担うべく、警備会社を展開する会社経営者です。ぜひ、新卒高校生の方々に当社の門をたたいて頂きたく、先生方、学校関係者の皆様に日頃から、経営者として思うこと、感じていることを綴ります。文化・芸能・教育・社会・経済・企業の問題を一緒に考えていきたいです。当紙の題名は私の人生訓であり、モットーでもあります。

当社はいつでも職場見学を受け入れております

学校が夏休みに入り、来春卒業予定者が就職を希望する会社研究のため、職場を訪れる季節となりました。当社でも、今月に入りすでに全拠点で10数名の生徒さんが当社の雰囲気に触れ、興味を抱いた警備業という仕事を少しでも理解しようと真剣な表情で採用担当の説明に耳を傾けてくれました。

先生、生徒の皆さんは「警備会社の社員」と聞いてどのようなイメージを持たれるのでしょうか。多くの生徒さんは「警察官のような真面目な人」と口を揃えます。

確かにそれは正しいのですが、そうした良いイメージを裏切らない責任ある仕事を社員一人ひとりが継続して実践するには、企業が人材教育のための投資を惜しまないこと、会社の成長と社員の幸福が同じスピードで達成される好循環を作り上げることが必要不可欠だと考えます。

先行きの見通せない経済環境の中にあって、最近の私は経営の醍醐味を「人材育成」に感じるようになりました。まだ18歳の若者が、当社に縁を得て仕事を通して経済的に自立し、厳しい人間関係の中で精神的にも大人として逞くなってゆく姿は真に尊いものです。企業が「若い力を社会に取り込む仕組みになる」ことは経営者の責任のひとつだと思うのです。私は企業の社会貢献とは、地域の新卒生や若者を雇用して、働きがいを感じるお客様の役に立つ仕事で地域貢献することだと強く思う今日この頃です。



当社では毎年、たくさんの高卒生を迎え入れております。一人でも多くの若い力を大切に育て上げたい。社会の発展に貢献できる人材に成長させることを私がお約束します。会社を通して彼らの人生形成の役に立ちたいと存じます。

ぜひ大切な生徒様の進路検討に私の会社を加えて下さい。本日は、御精読ありがとうございました。

松本 隆一郎